

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工 (人)	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
土地の利用に関する総合調整	公共物管理事業	公共物管理事業	○	1	7,401	1,111	4	4	3	1	現状維持
土地の利用に関する総合調整	事業用地取得事務	事業用地取得事務	×	1	20,805	1,487	4	4	3	4	拡大・充実

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	↑ (増大)	<p>三重県側では木曾岬干拓地の都市的土地利用が始まっておりますが、愛知県の土地利用方針が定まっておらず、今後、愛知県と協議をしながら有効な土地利用に努めます。</p> <p>また、土地の有効利用に必要な境界確定等事務を処理するとともに、幹線道路等整備のため、引き続き用地取得に努めます。</p>

令和元年度施策評価シート(平成30年度実施施策)

総合計画	政策目標	1 定住と交流、活力を生むやとみ	作成部長名	開発部長 大野勝貴
	施策項目	2 市街地の整備	シート作成日	令和元年10月10日

1 施策項目別の評価結果

達成度	②:まあまあ達成できている(60%以上)
-----	----------------------

2 施策概要

目的と方針	快適・安全・安心な居住環境と産業・文化の集積を生み出す魅力ある市街地の形成に向け、都市計画マスタープランに基づき、市民との協働のもと、計画的な都市づくりを推進します。	得られた成果	<p>鉄道により南北に分断されたJR・名鉄弥富駅周辺の利便性・バリアフリー化の確保を目的に、自由通路及び橋上駅舎整備を進めるため基本調査設計、駅前広場測量設計業務を実施しました。</p> <p>弥富駅等が近く、既存ストックが活用できる地区において、計画的な宅地化を推進する為、土地所有者を対象にまちづくり意向調査及び報告会実施しました。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------	--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年度)	評価 (達成度)
		(時点)		
市街化区域面積	ha	1,099.9	1,042.0	S(100%)
		(H30年度)		
駅や市役所周辺の整備に関する市民の満足度	%	25.0	25.0	S(100%)
		(H29年度)		
		(H 年度)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工 (人)	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
	該当事項なし										

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充 実)	↑ (増大)	↑ (増大)	<p>人口減少、超高齢化社会が現実的になってきていることから、集約的都市構造を目指し、便利・快適に暮らせるコンパクトな都市づくりを基本目標としています</p> <p>引き続き、鉄道により南北に分断されているJR・名鉄弥富駅周辺の利便性向上のため、自由通路及び橋上駅舎整備を進めていきます。併せて、近鉄弥富駅とJR弥富駅間の利便性の高いまちづくりを目指していきます。</p> <p>駅周辺や南部の臨海部周辺において、社会情勢等の変化を考慮し、計画的な市街地形成を図っていきます。</p>

令和元年度施策評価シート(平成30年度実施施策)

総合計画	政策目標	1 定住と交流、活力を生むやとみ	作成部長名	開発部長 大野勝貴
	施策項目	3 住宅施策の推進	シート作成日	令和元年10月10日

1 施策項目別の評価結果

達成度	③:あまり達成でききていない(40%以上)
-----	-----------------------

2 施策概要

目的と方針	定住の促進と快適・安全・安心な住まいづくりに向け、総合的な指針づくりのもと、良好な住宅・宅地の供給を進めます。	得られた成果	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅等で、耐震診断を受け判定値1未満と判定された住宅等に対して行われた耐震改修事業に、補助金を交付して、震災に強いまちづくりを推進しました。また、危険なブロック塀に対して撤去費補助制度を創設し、安全な宅地を推進しました。
-------	---------------------------------------------------------	--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年度)	評価 (達成度)
		(時点)		
民間木造住宅耐震改修費補助事業利用戸数	戸	25.0 (H 30年度)	50	B(50~74%)
		(H 年度)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工 (人)	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
建築物の耐震診断及び改修の支援	民間木造住宅耐震改修費補助事業	民間木造住宅耐震改修費補助事業	○	6	2,063	0.161	3	4	2	4	現状維持

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
→ (現状維持)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	ひき続き災害に強いまちづくりを目指し、旧耐震基準により建築された住宅団地等を対象とした個別訪問による啓発活動を行います。また、出前講座等において、積極的に制度の周知・相談に努め、さらにダイレクトメール等を活用し、市民に向けて地震対策の重要性を呼びかけていくことで、耐震化率を向上させていきます。

令和元年度施策評価シート(平成30年度実施施策)

総合計画	政策目標	1 定住と交流、活力を生むやとみ	作成部長名	開発部長 大野勝貴
	施策項目	4 道路・交通網の充実	シート作成日	令和元年10月10日

1 施策項目別の評価結果

達成度	②:まあまあ達成できている(60%以上)
-----	----------------------

2 施策概要

目的と方針	交通の要衝のまちとしての機能を一層強化し、市の発展可能性を高めるとともに、市民の安全性・利便性の向上を図るため、道路網の計画的な整備、公共交通機関の充実を図ります。	得られた成果	市道の整備は、中央幹線道路を始め幹線道路の整備や地元要望に基づく道路整備の他、狭あい道路整備を図ることができました。 また、道路施設の老朽化対策は、修繕計画に基づいて改修をおこないました。
-------	------------------------------------------------------------------------------------	--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年度)	評価 (達成度)
		(時点)		
市道改良率	%	47.1 (H 30年度)	47.5	A(75~99%)
市道舗装率	%	93.4 (H 30年度)	93.5	A(75~99%)
		(H 年度)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工 (人)	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
市道の整備	道路改良事業	道路改良事業	○	1	277,592	1,908	4	4	3	4	現状維持
市道の整備	道路台帳管理事務	道路台帳管理事務	×	1	8,405	0,445	4	4	3	3	現状維持
市道の整備	道路維持事業	道路維持事業	×	1	81,543	1,627	3	4	3	2	拡大・充実
橋りよの整備	橋梁整備事業	橋梁整備事業	○	1	87,097	1,321	4	4	3	3	現状維持
コミュニティバスの充実	地域公共交通活性化協議会事務	地域公共交通活性化協議会事務	○	3	95,216	0,784	3	4	2	1	方法改善

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	→ (現状維持)	↑ (増大)	<p>市民の安全性・利便性の向上を図るため、引き続き幹線道路の整備や狭あい道路整備を行っていく必要があります。</p> <p>また、これ以外に道路施設の老朽化が進んでいくので、計画的かつ効率的に修繕を行い維持管理に努めていきます。</p>

令和元年度施策評価シート(平成30年度実施施策)

総合計画	政策目標	1 定住と交流、活力を生むやとみ	作成部長名	総務部長 渡辺秀樹
	施策項目	5 情報化の推進	シート作成日	令和元年10月10日

1 施策項目別の評価結果

達成度	①:十分に達成できている(80%以上)
-----	---------------------

2 施策概要

目的と方針	市民生活の質的向上と市全体の活性化に向け、情報通信網の利活用及び行政内部の情報化を進め、電子自治体の構築と市全体の情報化を一体的に推進します。	得られた成果	<p>ホームページ・ツイッターの情報提供を充実させ、わかりやすく、利用しやすい情報発信を行った。</p> <p>市役所業務の電子化・情報化については、情報セキュリティの強化に努め、情報資産の安全管理を図るとともに、行政内部の情報化を促進し事務事業の効率化を図ることができた。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------	--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 成果の状況

成果指標名 (基本計画掲載分)	単位	最新値	目標値 (H30年度)	評価 (達成度)
		(時点)		
CATVの加入率	%	50.1 (H30年度)	60.0	A(75~99%)
情報通信網の整備(インターネット、CATVなど)に関する市民の満足度	%	21.7 (H29年度)	40.0	B(50~74%)
		(H 年度)		

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工 (人)	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
電子自治体の構築と市全体の情報化の推進	入札契約事業	入札契約事業	×	1	10,809	1,333	4	4	3	4	現状維持
電子自治体の構築と市全体の情報化の推進	電子計算機処理管理運用事業	電子計算機処理管理運用事業	○	2	186,170	2,046	4	4	3	3	拡大・充実
情報化の環境づくり	市ホームページ事業	市ホームページ事業	○	8	6,769	0,673	3	4	3	3	拡大・充実

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充実)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>情報発信については、スマートフォンを始めとする情報を得る媒体が多様化する中、様々な媒体を通じた効果的な情報発信に取り組んでいく。</p> <p>情報セキュリティの確保に対する市民ニーズは高まっており、より一層、情報セキュリティを強化していくため、物理的な環境整備はもとより、職員の意識向上を図っていく。</p>

4 施策の実施手段となる事務事業の分析結果

主要施策名 (総合計画)	事務事業名	細事務事業名	実施計画の有無	公的関与	全体事業費 (千円)	人工 (人)	評価結果				今後の方向性
							必要性	有効性	達成度	効率性	
	該当事項なし										

5 今後の施策展開の方針

成果の方向性	投入資源の方向性		今後の施策展開の方針・改善内容など
	事業費	人員	
↑ (拡大・充 実)	→ (現状維持)	→ (現状維持)	<p>港湾地域の発展には、基幹道路の整備が必要不可欠となります。</p> <p>2020年度には、名古屋第2環状線が伊勢湾岸自動車道まで開通予定ですが、東海北陸自動車道の南進となる一宮西港道路の整備も重要となります。</p> <p>国・県に対して地元の熱意を伝えるため、引き続き要望活動を実施していきます。</p>